

スイートパンツ

主に布帛素材で作る、パンツでありながらもギャザーが入った女の子ならではのデザイン。素材の使い分けでオールシーズン楽しめます。お子様用と違い、脇布の切り替えラインがヒップに向かって上がっています。ヒップを小さく位置を高く見せるための工夫です。

材料・用尺

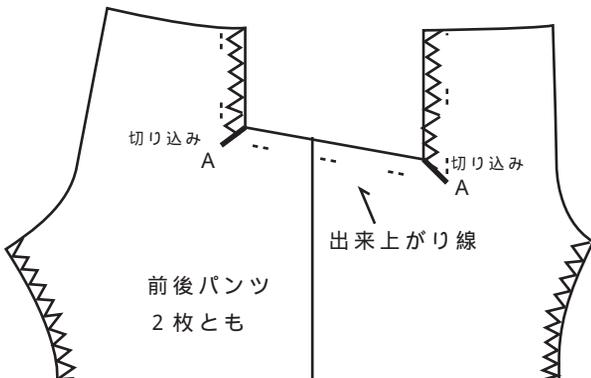
布帛用パターンです（パターンや仕様は布帛用です）
伸縮性の低いニットでも縫製可です。
柔らかすぎないボトム素材が適しています。
用尺は柄合わせや生地の方角性、
型紙の配置により変わる為、
余分にご用意いただくことを
おすすめします

	表地	伸び止め テープ 1cm巾	15mm巾 平ゴム
M	1.7m	45cm	68cm
L	1.7m	45cm	75cm

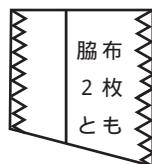
伸び止めテープは1cm巾のもので
できれば薄手をお使いください。

縫製手順

- 1 前後パンツ、脇布と接ぎ合わせる角の部分2箇所（A）に出来上がり線ギリギリまで、はさみで切り込みます。この後、切り込みから生地がほつれないように注意してください。



- 2 前後パンツ股下部分、脇布との接ぎ合わせ部分（タテのライン）脇布の両脇（タテのラインのみ）をロック始末します。



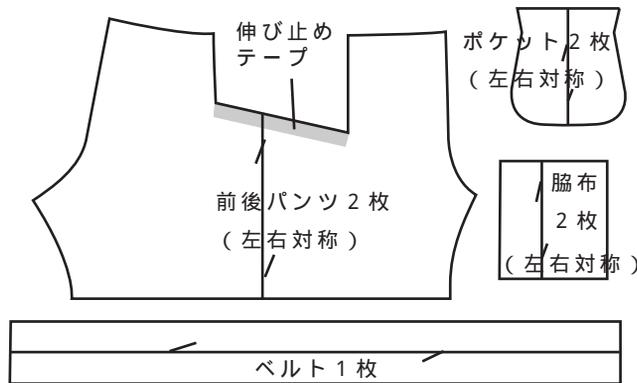
寸法 パターン上の寸法です

	脇丈 (ベルト 下)	股上 (ベルト 下)	股下	ヒップ	A寸法
M	58.3	23.6	34.6	97.2~	92.2
L	61.5	24.6	36.7	102.4~	95.6

ヒップはギャザーが入るので、固定の寸法ではありません
A寸法は、ゴムを入れる前のウエスト寸法です。
お尻が入るかどうかの確認はA寸法でしてください。

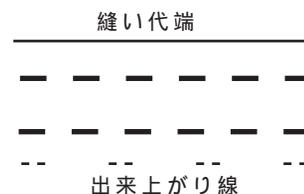
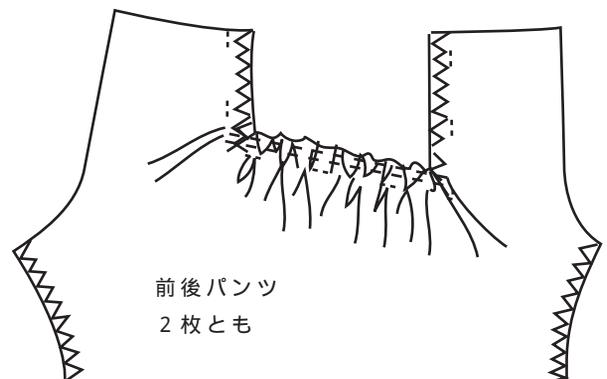
裁断

4 パーツ、裁断合計枚数7枚です。

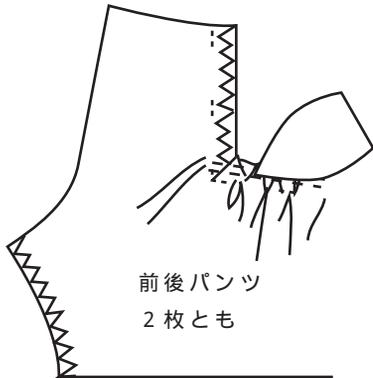


前後パンツは脇で
つながって
1枚になっています。
脇の縫い合わせが
不要になり
接ぎ目がないので
柄合わせも簡単です。
さらに、腰周りの表地
ラインがスッキリし、
シルエットが美しく
なる効果があります。

- 3 前後パンツ、脇布接ぎ合わせ部分にギャザーを寄せます。

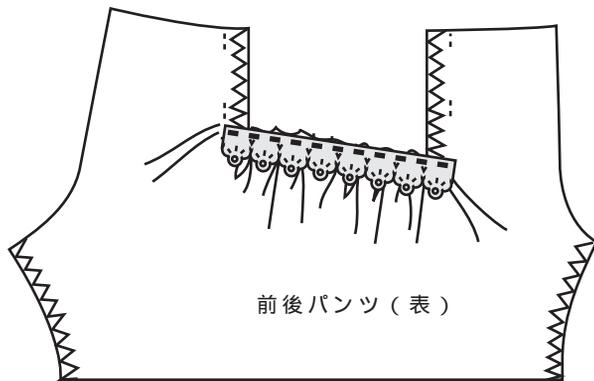


出来上がり線より
2mm外側に1本、
そこから更に5mm外側にもう1本入れます。
縫い代を落ち着かせる為
縫ったギャザーの糸は
そのままにしておきます
(ほどきません)



前後パンツ
2枚とも

ギャザーを潰さない
ように慎重に
縫い代だけに
アイロンをかけて
整えます。



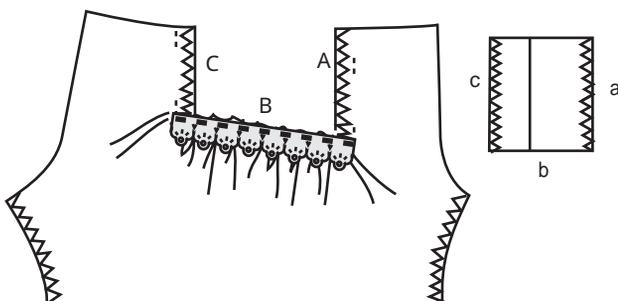
前後パンツ (表)

- 4 切り替え部分にレースを挟む場合
出来上がり線より2~5mm内側にレースを乗せて
仮止めしておきます。(目の粗いミシンで止める)
レースの端は、下図のように折り返しておきます。

表からのレースの見え方が
均等になる様、出来上がり線から
レースの先までを同じ寸法に
することがポイントです。

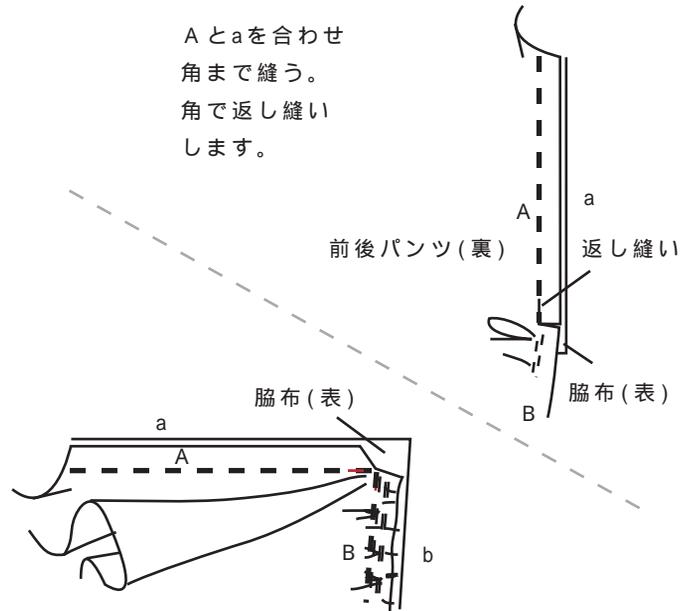


- 5 脇布と身頃を縫い合わせます。
このアイテムの最大のポイントになるところです。
身頃のA・B・Cの部分と、脇布のa・b・cを
中表で縫い合わせます。



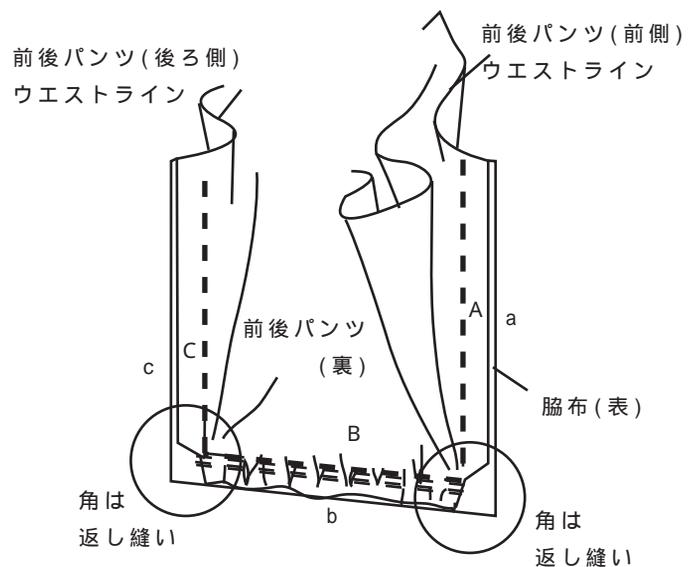
- 6 パンツを裏側に向け、A・B・Cを
a・b・cにそれぞれ合わせて中表で縫い合わせます。
手順は以下のとおりです(次のページまで渡ります。)

Aとaを合わせ
角まで縫う。
角で返し縫い
します。



角の所まで来て返し縫したら、ミシンの
押さえを一度上に上げ、90度回転させ
Bとbを合わせて最初に返し縫いをし
縫い進めます。Cとcも同様です。

このような形になります

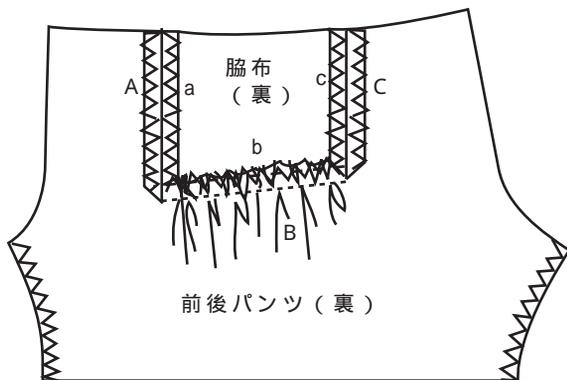


polka drops

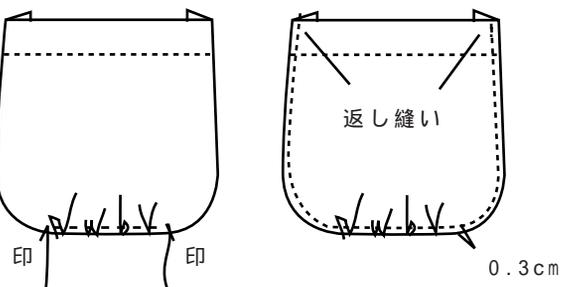
pp66-pp67 スイートパンツ 仕様書

転載・二次配布
無断コピー禁止

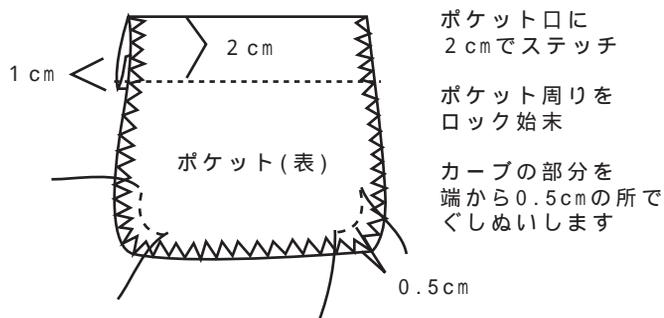
- 7 脇布と身頃の縫い合わせができました。
最初にロックしたAとCのラインは縫い代を割り()
Bのラインは縫い代を2枚合わせてロック始末し()
縫い代はアイロンで上に倒します。



ポケットの底部分のギャザーを寄せるため、
パターン記載の印の間を、縫い代を折った状態でぐし縫い
します。パターン記載寸法まで縮めます。
ポケットつけ位置に乗せてステッチ。最初と最後は
返し縫いを。

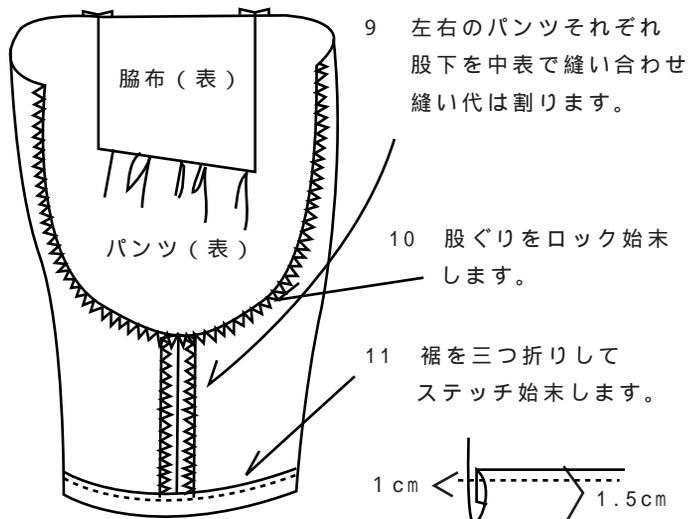
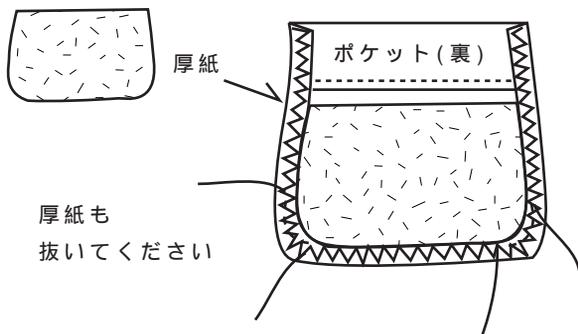


- 8 後ろポケットを作ります。
ギャザーが入っていて少し立体的な形状です。



のぐし縫いは最初と最後の糸を
少し引き出しておきます(引っ張るため)

カーブの所を出来上がりに形とった厚紙を用意し
(た方がやりやすいです) 縫い代を裏側に折った
ポケットに入れてぐし縫いした糸を引っ張りながら、
アイロンで形を整えます。
形が整ったら、ぐし縫いの糸はずします。



- 9 左右のパンツそれぞれ
股下を中表で縫い合わせ
縫い代は割ります。

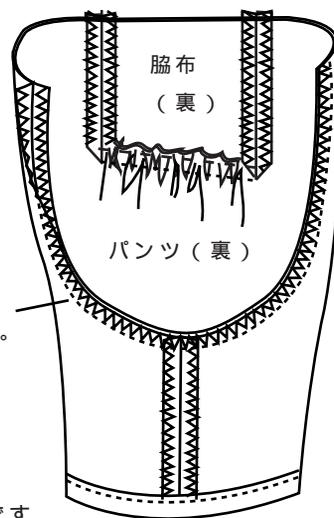
- 10 股ぐりをロック始末
します。

- 11 裾を三つ折りして
ステッチ始末します。

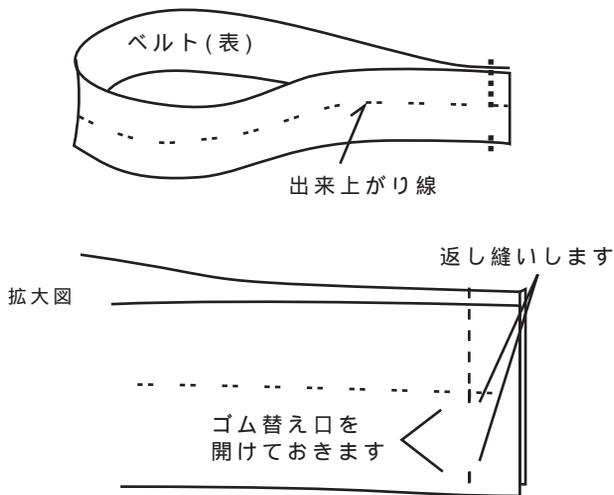
- 12 左右パンツの
どちらかを表に返し
中表に合わせます。

- 13 前後パンツの股ぐりを
一気に縫い合わせます。
縫い代はアイロンで
割ります。

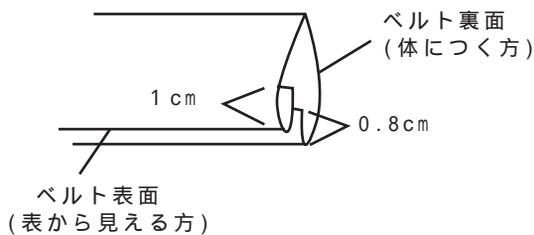
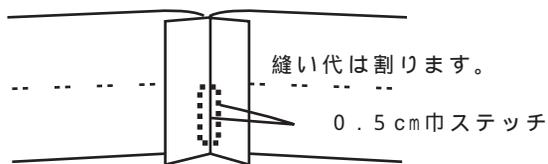
素材によっては
2度縫いで補強も可能です。



- 14 ベルトを作ります。ベルト端の縫い代を中表にして、輪になるように縫い合わせます。

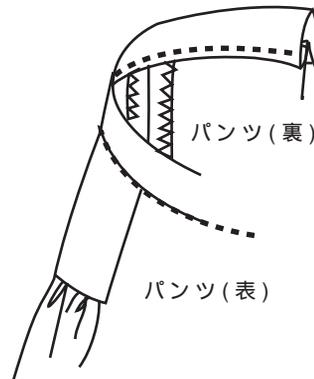
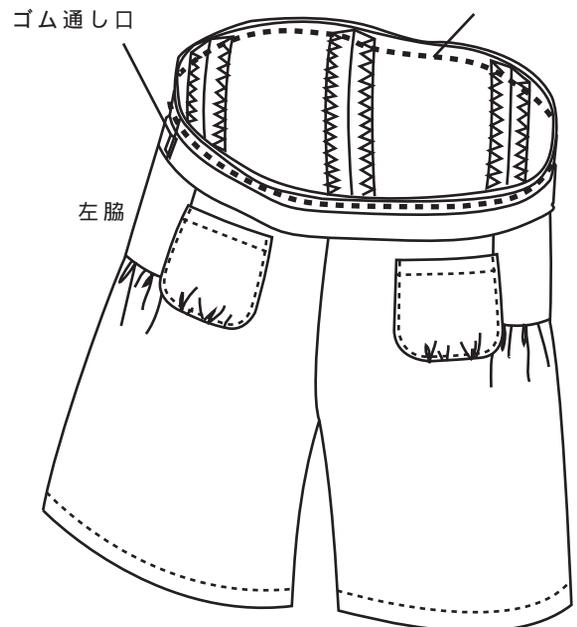


アイロンで縫い代を折ります。



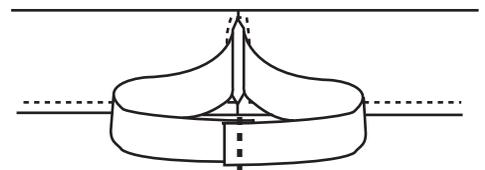
- 16 ベルトをパンツにつけます。
15で作ったベルトの 印の折り目を一旦開いて、中表で縫い代1cmで縫います。(折り目の上を縫う) ゴム通し口は左脇に来ます。間違えないように注意してください。

図は右ページ



出来上がりに折って、表からベルトつけ位置(ベルトとパンツの境目部分)をステッチで押さえます。裏側(体につく方)はきちんとステッチで止まっています。

- 17 ゴムを通して端を縫い止めます。以上で完成です。



* ゴム上り寸法はパターンに記載されていますが、体型に合わせて調整してください。